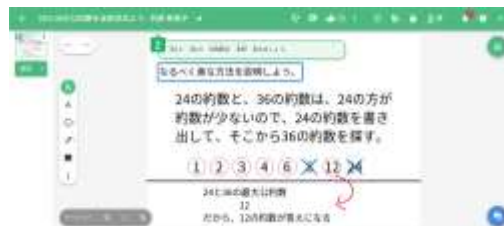


- 1 実施日時 令和5年9月26日(火)
- 2 実施学年 第5学年～飛行機コース～
- 3 実施教科 算数
- 4 単元名 「偶数と奇数、倍数と約数」
- 5 学習の流れ



24と36の公約数を全部求めよう

めあて：なるべく楽に見つける方法を説明しよう。

- 1 問題を知り、数直線を使わずに答えを求める。
- 2 求め方の説明をスクールタクトに入力する。
- 3 共同閲覧モードにして、交流を行う。
- 4 効率的な求め方をノートにまとめる。



6 Chromebook の活用

- スクールタクトの共同作業を OFF にして、自力で公約数の求め方の説明を書かせる。
- 共同閲覧モードにし、児童同士で説明を見られるようにする。自由に立ち歩きもさせ、自分と似ているところやよくわからなかった部分、間違いなどを交流させる。
- めあてに沿っていると感じた説明について、「いいね」ボタンを押させる。
- まとめの材料を抽出する際にいいね順で並び替え、特徴や共通点などを出させる。

7 児童・生徒の様子

文章や図形を使って興味深そうに自分の説明を入力していた。共同閲覧モードにすると、「〇〇さんの解き方、楽にできるね」「〇〇さんと似ているけれど、説明すごくわかりやすいな」などと、活発に交流を行っていた。さまざまな考えに触れたことで、まとめの場面でも活発な挙手が見られた。

8 振り返り

児童が友達の意見に興味を持つことは大切であるが、一方で自分の考えを持つことも大切である。友達と共有する見通しを持ちながら、始めは自分の考えに集中し、意見がはっきり持てたところで、気軽に友達の考えを参照できるようになることは、主体的な学習につながったと感じた。

また、「いいね」ボタンを押すという目的を与えることで、たくさんの他の児童の説明を閲覧することにつながり、埋もれていく考えが減ることになる。さらに挙手でおすすめの説明を発表させることで全体にも共有できた。このように機能に頼りすぎないことも大切だと感じている。

「いいね」機能は、発表が苦手な子でも意思表示ができ、並び替えることで参考になる説明を参照・比較しやすくなる。とても活用しやすい機能だと感じた。

